



クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」
出会いと絆を大切に



会長：北 健司 例会日：金曜日 12:30～13:30
副会長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川
副会長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
幹事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
会報委員長：朽本 正樹 E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

本日のプログラム

- | | | |
|--------------|----------|--------|
| | 司会 | 会場委員会 |
| ・点 鐘 | 会長 | 北 健司君 |
| ・ROTARY SONG | 「四つのテスト」 | |
| ・今月の歌 | 「我は海の子」 | |
| ・ビジター紹介 | 会長 | 北 健司君 |
| ・食事・歓談 | | |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | 会長 | 北 健司君 |
| ・卓話 | | 青山 博徳君 |
| | | 西村 輝幸君 |
| ・幹事報告 | 幹事 | 青山 博徳君 |
| ・点 鐘 | 会長 | 北 健司君 |
| ・今月の歌 | | |

「我は海の子」
われは海の子 白浪の
さわぐいそべの 松原に
煙たなびく とまやこそ
わがなつかしき 住家なれ

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君

「春日井市交響楽団協賛のお願い」
皆さんこんにちは。今日も例会への出席、ありがとうございます。本日は祝福例会ではありますが、会長挨拶をさせていただきます。松尾隆徳会員より春日井市交響楽団への協賛への要請が届いていますので、案内させて致します。春日井市交響楽団は1990年11月に創立しました。名称を「春日井市交響楽団」とし、春日井市より支援を受け、現在に至ります。今年の5月17日に卓話をいただいた鶴田正道氏（ペンネーム都築正道氏）が初代音楽監督を務められました。「市民が演奏し、市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として誕生しました。1993年3月より賛助会員の募集を開始し、平成27年度協賛数は法人48社、個人86名とまだまだ少数であります。私もクラシックが好きで、また市民

<アプロース>

2019年8月23日(金)2415回(8月第3例会)

オーケストラの趣旨に賛同し当初協賛旨に賛同していました。数回演奏会に足を運びましたが忙しさにかまけて足が遠のき、気が付けば協賛も途切れていました。これを契機に協賛を再開したいと思います。会費は1口個人3,000円、法人10,000円です。皆さんの積極的な協賛参加をお願いいたします。もう一点、愛知県警より空き巣に対する注意喚起が届いています。この8月中旬のお盆の時期が一年間で最も空き巣被害件数が多いそうです。自宅にとどまらず、事業所においてもしっかりと注意したいと思います。これで会長挨拶を終らせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

幹事報告 幹事 青山 博徳君

★昨年来から行っている例会時のフードロスへの呼びかけに8月第二例会食事数に過不足なく整いました。今後ともご協力お願いします。

★8月10日(土)東尾張分区 会長幹事会が開催されました。10月12日・13日のWFF・2月22日の東尾張分区 IM への概要説明および積極的な参加の要請がありました。

★11月10日(日)地区大会への参加登録を登録義務者(理事役員・入会3年未満)に関わらず会員皆さんのご登録をお願い致します。

★次回30日の例会はガバナー補佐訪問に続きクラブ協議会が開催されますので欠席の無いようご準備願います。

◎例会変更のお知らせ

岩 倉	9月3日(火) 12:30～
R C	敬老を祝う例会の為 和蔵
名古屋宮の杜	9月5日(木)
R C	夜間例会の為
小 牧	9月11日(水) → 9月7日(土)
R C	大山川クリーンアップ行事の為

会員増強、及び新クラブ結成推進月間

例会予定	8月30日(金)	9月6日(金)	9月13日(金)	9月20日(金)
	ガバナー補佐訪問	第3回理事会 11:15～	祝福	ガバナー公式訪問
	第2回クラブ協議会	小牧 RC 江崎 柳節君	卓話 新美 治男君 水上 耕一君	

◎例会休会のお知らせ

尾張旭RC

8月30日(金)休会

出席報告

委員長 藤川 誠二君

会員 53名	欠席 20名	出席率 62.3%
先々週の修正出席	欠席 2名	出席率 96.1%

ニコボックス委員会

委員長 梅村 守君

- 山崎先生をお迎えられる喜びで 北 健司君
- 今年も無事施餓が済みました 青山 博徳君
- アテンダンス表彰を受ける喜びで小川 長君
- 貴田 永克君
- 先日ニコ賞頂いて 加藤 茂君
- 誕生日の祝福ありがとうございます 社本 太郎君
- 林田君の卓話楽しみです。 栢本 正樹君
- 本日、中部経済新聞に野村証券春日井支店が載りました。 林田 健児君
- 山崎先生、林田君の卓話楽しみにしています 古屋 義夫君
- 山崎先生お世話になります 山田 治君
- 誕生日の祝福ありがとうございます。後期高齢者に成りました。 屋嘉比良夫君
- 卓話楽しみにしています。
- 足立 治夫君 稲垣 勝彦君 梅村 守君
- 大西 信之君 大原 泰昭君 岡本 博貴君
- 加藤久仁明君 加藤 宗生君 川瀬 治通君
- 清水 勲君 下田 育雄君 宅間 秀順君
- 内藤 修久君 中川 健君 長曾 篤志君
- 成瀬 浩康君 場々大刀雄君 速水 敬志君
- 藤川 誠二君 三上 努君
- ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話

山崎眼科院長 山崎 俊様

「タンザニア眼科支援活動の報告」

現在世界では数千万人以上の人々が白内障で失明しています。しかし日本をはじめとする先進国では白内障による失明者は稀です。それは先進国で白内障は手術治療が可能なためです。つまり、途上国で白内障によって失明している多くの人々は、手術によって視力を取り戻せる可能性があると言えます。白内障は誰でも加齢によって発症します。進行すると眼鏡や目薬で視力改善をすることは難しく、手術治療が必要となります。数十年前には先進国でも白内障は失明にいたる重要疾患でした。しかし1980年代に合理的な「超音波白内障手術」が普及してからは、多くの人々が白内障による失明から逃れることができるようになりました。

「超音波白内障手術」を行っている日本の眼科医の有志が、チームを結成してタンザニアでこの新しい手術方法を現地の医師たちに教育しています。2007年より毎年1回、10日間程度、現地での支援活動

を行っています。具体的な活動内容は以下の3点です。

1) 日本人医師が現地で「超音波白内障手術」を行いその手技を教育する。

2) 現地で不足している医療機器、薬剤、消耗品などを寄贈する。

3) 現地医師を日本へ招き、病院を見学するなどして見聞を広げてもらう。

この12年間で、我々が指導している大学病院での白内障手術患者数が増加し、緩やかではあるが白内障による失明患者の減少に役立っていると思われま

す。超音波白内障手術の導入と普及(2007年=約3%→2017年=約15%)

白内障手術件数の増加(2007年=約300件→2017年=約500件)

一人でも多くの白内障患者を失明から救うことが我々の願いです。今後ささやかながらもこの活動を継続することが出来れば幸いです。

卓話

林田 健児君

「自己紹介と若手社会人会議」

伝統ある春日井ロータリークラブで早速卓話のご機会をいただき誠にありがとうございます。今回は改めて詳しい自己紹介と若手社会人会議の紹介をさせていただきます。私は兵庫県で生まれました。父が三和銀行に勤めていた関係上、転勤が多く、育ちは神戸、兵庫県の川西市、大阪の茨木市、また川西市に戻るなど子供時代は転校生でした。大学は神戸の甲南大学を卒業いたしました。就職活動の際、日ごろリビングに父が読んでいた日経ビジネスがありましたので、私も高校生ぐらいから雑誌の感覚で読んでおりましたので、自然と経済に関心がありました。父は高卒で三和銀行に入行し、参事という肩書まで出世しましたが、支店長にはなれませんでした。高卒で学閥などもあり、支店長になれなかったなどの話を聞いておりましたので、私は学閥などがなく、実力で勝負ができる会社に就職したいとの思いが強くなり、厳しいが実力主義と言われていた野村証券に入りました。最初は大阪の梅田支店に配属になり、大阪の企業オーナーの方々から多くのことを学びました。我々の職業の利点は新入社員でも、失礼だとは思いますが、オーナー社長様に面会を依頼でき、オーナー社長様と話ができることです。オーナーの方々には自分の家族だけでなく、会社の社員やまたその家族も支え、仕事を行われている点で、私のようなサラリーマンとは全く仕事に対する覚悟が違い、そのような方々から若い頃に色々教えていただいたことが私の糧になっております。入社1年目の頃、全く仕事ができませんでした。当時の私の仕事は1日平均100件企業に飛び込み、株などのセールスをすることでしたが、飛び込んだ先のお客様から、野村には損させられたので帰れと塩をまかれたこともあります。なかなか成果が出ない

中で、話だけならいいよと会社にあげていただいた社長に励まされまされたことがあります。全く仕事ができない私に対して、その社長は「もがけ」とアドバイスをくれました。たとえ話として、君が底なし沼に入ってしまった、君が泳ぐことができない状況だとする、自分は泳げないし、ここは底なし沼だから助かるのは無理だ、と、思っあきらめたら、そのまま底なし沼から出られずしんでしまう、ただそこで、自分は泳げないし、ここは底なし沼だけど、助かりたいとバシャバシャバシャバシャもがいていたら、周りの誰かが気づき、縄を投げてくれ、君は助かる、だから君も「もがけ」とアドバイスをいただきました。その後、誰よりも早く会社に行き、誰よりも遅く外回りから帰ってきて、土日もなく仕事をしておりましたら、3か月後ぐらいから自然と成果が出始めました。一度、仕事ができ始めると楽しくなり、いい循環に入っていました。梅田支店を転勤になり、そのほかの地域でも、仕事ができなくなると、まず3か月は必死に仕事に向き合い、四六時中仕事をしているとやはり、またいい循環に入っていました。このもがけという考えが23年経った今も私の指針になっております。梅田だけでなく、横浜の青葉台支店、高知支店、神戸支店、川崎支店、奈良支店でも各地のお客様から色々教えていただき、今の私があります。入社当初、父がなしえなかった支店長になるとの目標は23年かかりましたが、達成できました。今の目標は証券主体の直接金融が銀行主体の間接金融を上回ることです。株屋と呼ばれ塩をかけられる証券会社でなく、資本主義社会の中で、投機でなく、投資で明るい豊かな社会形成に貢献できることができればと考えております。これは自分が死ぬときまでの長期目標ですので、時間をかけて投機でなく、投資へ顧客を誘導し、投資による成功体験を顧客に体感していただけるように日々活動しております。話は変わりますが、9月13日に若手社会人会議をここで開催いたします。今年の4月から春日井支店の支店長をさせていただいておりますが、なにか地域貢献できることはないかと考えていた時に、昨年、青森支店で新社会人会議という企画で地元の方々に喜んでいただけたとの話を聞きました。この企画は、様々な業種の地元企業の若い社員に集まっていただき、仕事を通じてどのように地域に貢献するかを真剣に楽しく考えていただく会議です。ここにおられる方々は常日ごろから地域社会のことを考えて事業をされていらっしゃる方が多いと思いますが、若い方にも地域社会のことを考えて仕事をした方が仕事に身が入るのではないかと思います。また、今は第4次産業革命ともいわれる時代の過渡期であると思います。デジタル社会、AI社会など大きく世の中が変わりつつあるなかで、明らかに私などよりも、若いの方がスマートフォンなどのデジタル機器の使い方は詳しいです。来年から

は日本でも5Gが始まるなど、ますますデジタル社会になっていく中で、10年後、20年後の社会の知恵は若いの方が持っているのではないかと思います。また、このロータリーやライオンズなど年長者の方々のネットワークはいろいろありますが、若い人たちのネットワークも色々あれば仕事で困ったときや、アイデアがでないときなど仕事で壁にぶち当たったときに様々な業種の同世代の友人が助けになるのではないかと思います、できるだけ様々な業種の若い方に集まってもらって、春日井の未来を考えてもらいたいと考えております。主旨をお話ししたところ、春日井市役所や商工会議所もサポートしていただけることになり、伊藤市長にも来ていただけることになりました。ぜひとも、皆様の会社の若い方々にも参加いただきたいです。何卒、ご協力のほど、よろしく願いいたします。



会長挨拶 北 健司君



祝福 会員誕生日



祝福 アテンダンス表彰



卓話 林田 健児君



卓話 山崎眼科院長 山崎 俊様



幹事報告 青山 博憲君